

戦争法案（安保法制）の採決をめぐる攻防はいよいよ激化しています。  
「戦争のできる国家」への道であるとして、この法案に強く異議を唱えていた市民運動家の吉川勇一さんが今年5月に亡くなりました。もう黙っていることはできない…私たちは吉川勇一さんの市民葬・お別れ会が開かれる9月6日（日）に、日本社会のあり方を根底から変えようとする現在の動きに市民一人ひとりが抗議の声をあげるデモを行います。ほんのわずかな距離を歩くだけのデモですが、ぜひ一緒に声をあげてください。

# 戦争させない！ 戦争法案廃案！ 安保をつぶせ！ アベ政治を許さない！ 吉川勇一さんとともに みんなで声をあげる市民のデモ

※9月6日正午からの市民葬（献花）は、どなたでも参加できます。



日時：2015年9月6日（日）

午後1時10分集合

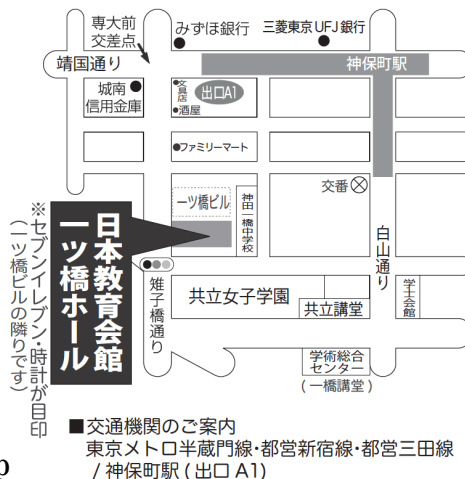
場所：日本教育会館前

（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

主催：市民のデモ実行委員会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305  
市民の意見30の会・東京 気付

TEL: 03-3423-0185 / e-mail: yydemo0906@yahoo.co.jp



## 吉川勇一さんとは？

1931年生まれ。1950年代から一貫して平和運動に参加し、「ベトナムに平和を！市民連合（ベ平連）」事務局長として大きな足跡を残しました。その後もさまざまな市民運動に関わり、昨年安倍政権による集団的自衛権行使容認の閣議決定がなされて以降も、戦争への道を再び歩みだそうとする日本社会と政治の右傾化に深い危機感を持ち、それに立ち向かう強い抗議の意思を発信しつづけていました。多くの人に惜しまれながら今年5月に逝去。享年84でした。